

A. 日 時 2015年12月4日(金曜日)17時30分~19時30分

B. 場 所 本会会議室

C. 出席者 松本主査 他6名

D. 提出資料(提出委員名も記入して下さい)

No. 08-01: 第7回 性能評価法検討WG 議事録(案)

No. 08-02: 居住性能評価指針改定小委員会 議事録(案)

No. 08-03: 「評価指針」の内容について(案)

No. 08-04: 居住性能評価指針・同解説(仮称)目次案 その1

No. 08-05: 居住性能評価指標

No. 08-06: 居住性能評価指針・同解説(仮称)目次案 その2

No. 08-07: 居住性能評価指針

E. 審議事項

1. 議事録確認

資料 No. 07-01 「第7回 性能評価法検討WG 議事録(案)」について報告

→ 承認された

2. 議論

A) 資料 No. 08-02 「居住性能評価指針改定小委員会 議事録(案)」について松本主査より報告

※ 居住性能評価指針改定小委員会への報告について

→ 本WGの活動報告を行い、これまでの活動に関し承認を得た

→ 横山委員作成の資料をもとに新指針の構成を説明しコンセンサスを得た

→ 来年度の大会にて新指針に関するPDを行う

B) 資料 No. 08-04 「居住性能評価指針・同解説(仮称)目次案 その1」について松本主査より報告

※ 新指針刊行に関して

→ 刊行小委員会設置に際し、事前に刊行物の目次案を提示する必要がある

→ 構成: 定常(鉛直・水平)、非定常(鉛直・水平)

C) 資料 No. 08-06 「居住性能評価指針・同解説（仮称）目次案 その2」について松本主査より報告

※ 新指針刊行に関して

- 前述資料4) に対して、これまでの活動内容を組み込んだもの
- □評価値の算出時に採用する評価法（測定法）を1/3 オクターブバンドと規定して良いのか？
加振源の特性により0-p 加速度評価等と分けたほうが良いのか？

※ 刊行に向けてのタイムテーブル

- 要運営委員会査読（期間は一般的に2~3ヶ月程度か）、指針の場合はパブリックコメントも募集する（期間は一般的に1~2ヶ月程度か）

D) 資料 No. 08-07 「居住性能評価指針」について報告

※ 水平振動に関する新指針提案に際して

- 目次案にこれまでの本WGの活動（既往研究まとめ）をあてはめた
- 近年の既往研究をまとめ、各研究における評価をもとに回帰を行うことが可能
- 新指針での提案方法、ならびにこれまでの指針（H曲線）との整合性等に留意する

※ 水平振動における非定常振動の評価について

- 定常振動に関する既往研究の評価曲線を平行にシフトすることにより評価可能
- 非定常実験のデータ（振動実測は国松委員長、被験者アンケートは石川委員が管理）を松本主査にご提供頂き別途検証を行う

E) 環境振動シンポジウムについて議論

※ 鉛直/水平両振動の構成

- 鉛直振動：定常⇒既往通り、非定常⇒時間影響を加味した評価
- 水平振動：定常⇒既往指針+近年の研究のまとめ、非定常⇒既往指針を平行にシフトし評価

3. 次回以降の課題

- ※ 低層建築物や交通水平振動に関する情報の集積にも努める
- ※ 次年度は評価指針改定案を策定することを目標とする
- ※ 鉛直振動：本文案作成、水平振動：回帰曲線案（定常/非定常）作成
- ※ 水平振動非定常実験のデータ（振動実測は国松委員長、被験者アンケートは石川委員）を松本主査にご提供頂き別途検証

次回の当委員会は、2016年2月24日（水曜日）17時30分より本会会議室で開催します。

資料を提出される方は、あらかじめ準備(9部)されるか、もしくは2日前までに本小委員会のオンラインストレージまでアップロードお願いいたします。